

平成22年度「みどりの日」自然環境功労者
環境大臣表彰受賞者一覧

○保全活動部門(15件)

	受賞者	功績概要
1	あさひかわきかしよくぶつけんきゆうかい 旭川帰化植物研究会 (北海道)	旭川地方の帰化植物の調査を毎年実施し、その結果をまとめて小中学校へ理科資料として配付するほか、子ども向け植物図鑑の作成など、帰化植物を通じて自然環境保全に係る普及啓発に尽力。
2	ふくし まさあき 福士正明 (北海道)	緑化相談員、樹木医としての緑の保全や、美化清掃に関する永年の活動により、市民の環境保全の意識向上、川辺の自然植生の保護が図られるなど、自然環境保全の普及啓発に尽力。
3	すずき しん 鈴木 伸 (埼玉県)	永年、生物多様性の復元を目指した森の再生、希少野生生物の生息環境の保護、地域の小中学生を対象とした野鳥観察指導など、自然環境保全の普及啓発に尽力。
4	きたはら まさひこ 北原 正彦 (山梨県)	富士箱根伊豆国立公園内の特別地域の草原など、富士山周辺の生物多様性の実態、絶滅危惧種の分布と生態を解明し、永年、それら保全対策の検討と提言に尽力。
5	ふじのみやしぜんかんさつのかい 富士宮自然観察の会 (静岡県)	富士箱根伊豆国立公園富士山地域の重要な自然資源である田貫湖湿原、朝霧草原での永年の活動は、植生の保全・再生に寄与するなど、自然環境保全に貢献。
6	たびかしげんとかんききょうをまもるかい 田光資源と環境を守る会 (三重県)	地域の希少動植物を守るため、団体を先頭に地域一丸となって外来魚の駆除を行い、希少生物の保護と地域住民の保全に関する意識向上に貢献。
7	ひぐち きよかず 樋口 清一 (兵庫県)	永年、丹波地域を中心に巡回し、県への情報提供、利用者への指導を行うほか、環境計画の策定、植物の専門官として知識の普及に努めるなど、自然環境保全及び自然保護思想の普及啓発に尽力。
8	みきしぜんあいこうけんきゆうかい 三木自然愛好研究会 (兵庫県)	絶滅危惧種の保全を市に求め整備された、自然公園である「ふるさと公園」を拠点に、地域住民と連携し、子供達を対象とした環境体験や自然愛護の活動など、環境保全及び普及啓発に尽力。
9	ひら けいこ 平 恵子 (奈良県)	大峯の山岳に永年かかわり、高山植物の保護活動、自然景観と希少植生を記録した写真が行政の環境分野の重要な資料となるなど、自然環境保全に貢献。
10	さんごをしょくがいすどうぶつくじょじっこういんかい サンゴを食害する動物駆除実行委員会 (和歌山県)	ラムサール条約登録湿地「串本沿岸海域」のサンゴを食害する動物の継続的な駆除、モニタリング調査による現況調査、ダイバーによる駆除イベントによる自然体験など、保全・保護活動及び普及啓発に尽力。
11	たなか さとし 田中 智 (島根県)	荒廃した海岸マツ林の地道な保全活動は、地域住民に広がり大規模なボランティア活動となり、地元学校の野外活動や植林体験の場になるなど、地域の自然環境保全に貢献。
12	しまねけんりつおきすいさんこうとうがっこう 島根県立隠岐水産高等学校 (島根県)	これまで実施されていない磯焼け調査の実施により沿岸環境を明らかにし、漁業者や地域住民に説明会を実施、陸域にも着目し植林活動等を行うなど、自然環境保全と普及啓発に尽力。
13	いしかわ かずお 石川 和男 (愛媛県)	永年にわたり自然環境の保全活動に幅広く携わり、県内の自然環境分野の第一人者として自然環境保全及び県民の保護思想普及に尽力。
14	たなか あきら 田中 明 (福岡県)	「虹の松原」を通じて、様々な視点から松原を見つめ直し、保全・再生活動を行うことで、「官・民・学」協働での活動が始まるなどの波及効果は大きく、自然環境保全と再生の普及に貢献。
15	ゆあさ りくを 湯浅 陸雄 (熊本県)	永年、阿蘇北外輪山の湿原、草地・原野の動植物保護活動等の他、児童等への勉強会、河川環境講習会、植樹活動など、自然環境保全活動に尽力。

○いきもの環境づくり・みどり部門（7件）

16	くりやまちょうはさんべつさとやまけいかくじっこういんかい 栗山町ハサンベツ里山 計画実行委員会 (北海道)	生物生息環境づくりを含めた自然環境の「再生」「保全」を、優れた市民運動として実現させ、再生環境を生かした教育や次世代の人材育成など、自然環境保全、普及啓発に尽力。
17	みやこしりつ きがくしょうがっこう 宮古市立竜岳小学校 (岩手県)	永年、チョウセンアカシジミの生態・観察活動等を実施するとともに、その生息環境の保全に取り組むなど、地域の自然環境保全に貢献。
18	やまなか むのる 山中 實 (福島県)	永年、イトヨの生息状況、環境等の調査を実施するとともに、希少生物保存推進に関わる行事の講師を務めるなど、希少動物の保護と自然環境保全の普及啓発に尽力。
19	とうかいそんりつむらまつしょうがっこう 東海村立村松小学校 (茨城県)	学校と地域住民の協力によるピオトープづくりを、児童の理科、環境教育に活用するとともに、郷土に残る貴重な自然生物の生息環境の保護と創出を行うなど、自然環境保全の普及啓発に尽力。
20	てんりゅうしょうがっこう 天龍小学校 (長野県)	県の天然記念物及び希少野生動植物であるブッポウソウの観察・保護活動を通じ、子供達に自然に関する理解を浸透させるなど、希少な野生生物の保護に貢献。
21	ざいだんほうじん しずおかけん ぐりーんぼんく 財団法人 静岡県グリーンバンク (静岡県)	永年、多くの寄付協力を得て、緑化資材の無償配賦、県民の自発的な緑化活動の支援、緑化活動の啓発に取り組むなど、環境保全活動に貢献。
22	くずはゴルフ場 (大阪府)	永年にわたり、全国の公共施設の緑化植樹、環境保全及び普及啓発等の環境事業に協力し、環境保全活動等へ貢献。

○自然ふれあい部門（7件）

23	ささき ひろし 佐々木 宏 (岩手県)	鳥類や山林の調査活動のほか、永年にわたり自然環境に関する様々な行事の講師を務め、幅広い年齢層に自然の大切さについての環境学習を推進するなど、自然保護思想の普及啓発に尽力。
24	かぶしきがいしゃひがしにっぽんほうそう 株式会社東日本放送 (宮城県)	番組やイベントを通じて自然の大切さを訴え、永年にわたる地道な緑化活動や植樹活動を推進し、自然とふれあえる機会を創出、ダム上流に植樹し森林保全を図るなど、環境保全及び普及啓発に尽力。
25	かすみがうらしりつにいほりしょうがっこう かすみがうら市立新治小学校 (茨城県)	学校林を活用して自然とふれあう様々な活動を教育課程に盛り込む取り組みを永年行っており、地域社会に認められて、児童の活動への支援体制が整うなど、環境保全・学習の推進に貢献。
26	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 ラブ・ネイチャーズ (静岡県)	自然のすばらしさ、大切さを伝える環境教育・環境学習などを継続的に幅広く展開することにより、地域の自然環境に関する意識向上に寄与するなど、自然環境保全に貢献。
27	なかがわ むねたか 中川 宗孝 (京都府)	永年、鳥類の保護・調査を実施するとともに、鳥類や水生生物の自然観察会を通じ、子供達や地域住民に自然とのふれあい活動を推進し、美化清掃を実施するなど、自然環境啓発活動に尽力。
28	にしだい りつこ 西台 律子 (京都府)	永年にわたり、京都御苑野鳥調査を実施するとともに、自然観察学習会の講師として御苑来訪者の自然への理解を深めるなど、環境保全及び普及啓発に尽力。
29	こうやちくほたるのさとづくりほぞんかい 高野地区ホタルの里づくり保存会 (長崎県)	永年、ホタルの生育環境の整備として川周辺の清掃美化活動などにより、地域住民の河川・地域美化への意識が向上、環境学習として地域の小学生と活動するなど、普及啓発に貢献。

○調査・学術研究部門（4件）

30	いがらし あきら 五十嵐 彰 (福島県)	永年にわたり、福島県の種子植物の研究を重ねるとともに、行政への助言指導や環境教育活動を行うなど、福島県の自然環境に関する調査・研究等に尽力。
31	いけだ よしゆき 池田 良幸 (石川県)	石川県のキノコ研究の第一人者で、60年に渡るキノコの調査・研究を通じ、自然環境保全に貢献。
32	しばた えいいち 柴田 叡弐 (愛知県)	永年、大台ヶ原地区において、ニホンジカによる森林に対する食害等に関する調査研究を行い、その成果は森林再生に係る対策の基礎情報になるなど、当該地区の自然再生に貢献。
33	しよきた しげみつ 諸喜田 茂充 (沖縄県)	永年、南西諸島各地に生息する水生生物全般、特に甲殻類に関する研究を行い高い見識から希少生物の保全、生物多様性の保全など、水生生物等に係る調査・研究の進展と自然環境の保全に貢献。

○国際貢献部門（1件）

34	あじあもうきんるいねっとわーく アジア猛禽類ネットワーク (大阪府)	猛禽類の生息環境の保護や、生物多様性の保全につながるとされている保護活動をアジア各国と連携して行うなど、アジア地域の自然環境保全活動に貢献。
----	--	--